

ヒトメタニューモウイルスについて

春です、暖かくなりました。ヒトメタニューモウイルスという名前を聞いたことがありますか？毎年この時期、3月～6月にかけて流行する風邪です。大人や小学生以上のお子さんはさほど問題になりませんが、小さい子がかかると重症化することも……。今回はヒトメタニューモウイルスのお話し。

ヒトメタニューモウイルスは、はな風邪（鼻汁）、のど風邪（咳）を起こすウイルスです。咳やくしゃみで飛び散った飛沫などで感染します。もらってから発症するまで4～6日ぐらい。最初は鼻汁や咳など「あら、風邪ひいた？」くらいの症状から始まり、その後発熱が4-5日続きます。熱が続いている間は1日1日症状が悪くなることもあり、お子さんによってはゼイゼイ、ヒューヒューの音がして細気管支炎を起こすこともあります。ここまでいくと治るのに10日程度かかります。呼吸障害（夜、息苦しくて何度も起きる）が強くなれば入院になることもあります。

特別効果的な治療法があるわけではありませんが、症状を緩和する対症療法でほとんどの場合1週間程度で治ります。水分をしっかりと、ゆっくり休みをとりましょう。

保育園・幼稚園では時に集団感染が起こって問題となることがあります。診断はお鼻を細い綿棒でぬぐった後、迅速診断キットをもちいて行います（インフルエンザと同じ）。発熱と咳が続き、同様の症状が周囲で流行しているときは、ヒトメタニューモウイルスの可能性もありますので、かかりつけの小児科を受診するようにしましょう。